

斐川町地域農業ビジョン（ひかわ元気農業推進計画）



【計画年度 令和5年度～令和9年度】



◆ 斐川地域農業の目指すべき姿（斐川地域農業基本構想）

- 1 「一町一農場構想」を追求し、地域が一体となって農業・農村・環境を守る！
- 2 スマート農業技術や新たな支援組織により、全国に先駆ける農業を目指す！
- 3 大規模経営体、集落営農組織、園芸農家、畜産農家などそれぞれの強みを引き出し所得を向上する！

◆ 実現に向けての8つの柱（重点項目）

- 1 技術革新（イノベーション）による生産性向上と大胆な省力化、コスト削減
 - (1) 効率化の推進
 - (2) 生産コストの低減
- 2 環境に配慮した持続可能な農業生産体系の確立（エネルギー循環、脱炭素、有機農業）
 - (1) 栽培環境リスクの低減
 - (2) 農業による地域づくり
- 3 高所得農業経営体の育成(他産業を上回る所得を確保)
 - (1) 高所得農業経営体の育成：土地利用型農家
 - (2) 高所得農業経営体の育成：園芸、畜産等個人農家
- 4 人材（後継者）の育成
 - (1) 新規就農者の確保：独立自営就農
 - (2) 新規就農者の確保：雇用就農
- 5 新たな支援組織による農業支援サービス提供
 - (1) 新たな農業支援組織設立による支援サービスの提供
- 6 集落営農組織の発展
 - (1) 新しい集落営農組織の構築：経営発展型集落営農組織
 - (2) 新しい集落営農組織の構築：農地維持型集落営農組織
- 7 高収益作物集積団地（路地、施設）の創設
 - (1) リースハウス団地、園芸団地形成
- 8 売り先起点のものづくり（輸出も視野に入れた販売戦略）
 - (1) 農業ブランディングの推進
 - (2) 新市場開拓
 - (3) 輸出への挑戦
 - (4) 直売所の創設・活用
 - (5) 加工販売の推進

◆ 具体的な数値目標

●具体的な数値目標 項目	基本構想策定時現況 (令和元年度)	計画（基本構想） (令和14年度)
農業産出額	33.3億円	40.0億円
農業総生産コスト	—	2割削減(米は4割削減)
環境負荷軽減農業	—	斐川地域の1/2以上の面積
農業収入額1億円超	3経営体	10経営体以上
メガ団地整備	—	露地野菜10ha(複数か所) リースハウス2ha(複数か所)



◆ 斐川地域の目指すべき方向性（中心的取組み）

- 高収益作物の導入の積極的な検討や先進的なスマート農業技術に迅速に対応できる体制の構築など高収益化に向けた取組み
- 高所得農業経営体の育成の取組みや意欲ある担い手の育成・確保に向けた取組み
- 環境に配慮した持続可能な農業生産体系の確立の取組み
- 効率的な農業経営を目指すため、新たな農業支援組織による支援サービス実現に向けた検討
- 園芸団地を形成し、初期投資の軽減や作業の効率化を図り、新規就農者や規模拡大希望者を受け入れることのできる産地の拠点づくりの取組み
- 販売部門と連携した売れるモノづくりや斐川の農産物の輸出に向けた検討など農家所得の向上を図る取組み

※ 8つの柱（重点項目）の具体的な取り組みは裏面へ

8つの柱（重点項目）の具体的取り組み

1. 技術革新（イノベーション）による生産性向上と大胆な省力化、コスト削減

（1）効率化の推進【ものづくり】

- ①農地集約による大区画化
- ②大規模作物団地の形成
- ③デジタル化(農業DX)の推進とスマート農業の活用、普及

（2）生産コストの低減【ものづくり】

- ①一町一農場構想の追求
- ②徹底的な生産コスト低減技術の実証、普及
- ③堆肥利用による輸入資材からの転換
- ④新たな技術実証、普及

2. 環境に配慮した持続可能な農業生産体系の確立(エネルギー循環、脱炭素、有機農業)

（1）栽培環境リスクの低減【ものづくり】

- ①環境に配慮した農業生産の実践
- ②気候変動に対応した農業生産の実践
- ③鳥獣被害リスクの低減

（2）農業による地域づくり 【しくみづくり】

- ①農村コミュニティの維持
- ②農業への理解の醸成
- ③担い手を支えるしくみづくり(除草、用排水管理)
- ④「花のまち斐川」による地域づくり

3. 高所得農業経営体の育成(他産業を上回る所得を確保)

（1）高所得経営体の育成：土地利用型農家【ひとづくり】

- ①農地確保が難しい中での経営品目の選定
- ②経営感覚の優れた後継者育成
- ③技術を持つ雇用労働力の確保
- ④雇用環境の整備等

（2）高所得経営体の育成：園芸、畜産等個人農家【ひとづくり】

- ①経営感覚の優れた後継者育成
- ②法人化等経営形態の検討
- ③経営品目の選定
- ④技術を持つ雇用労働力の確保

4. 人材(後継者)の育成

（1）新規就農者の確保：独立自営就農【ひとづくり】

- ①関係機関も含めた相談・支援体制の拡充
- ②就農モデルケースの確立
- ③定年帰農者、女性就農者等の確保と多様な担い手への支援

（2）新規就農者の確保：雇用就農【ひとづくり】

- ①農業支援組織による人材育成
- ②求人農業者とのマッチング
- ③定年帰農者、女性就農者等の確保と多様な担い手への支援

5. 新たな支援組織による農業支援サービス提供

（1）新たな農業支援組織設立による支援サービスの提供

6. 集落営農組織の発展

（1）新しい集落営農組織の構築：経営発展型集落営農組織【ひとづくり】

- ①経営発展に向けた戦略検討と経営品目の選定
- ②経営感覚の優れた後継者育成
- ③技術を持つ労働力の確保
- ④雇用環境の整備等

（2）新しい集落営農組織の構築：農地維持型集落営農組織【ひとづくり】

- ①後継者（労働力）不足に対応した組織のあり方の検討
- ②地域農業を守る（維持する）組織体制の確立
- ③広域連携等による組織のあり方の検討

7. 高収益作物集積団地(露地、施設)の創設

（1）リースハウス団地、園芸団地形成【しくみづくり】

- ①産地の拠点づくり
- ②新規就農者初期負担の軽減
- ③新規就農の受入れ
- ④新たな担い手の育成

8. 売り先起点のものづくり(輸出も視野に入れた販売戦略)

（1）農業ブランディングの推進【ものづくり】

- ①高付加価値化への取組強化
- ②米以外の品目による1億円を超える商品の創造
- ③GAP認証農産物の拡大

（2）新市場開拓【あきないづくり】

- ①販売部門との情報連携、収集
- ②物流体制の整備
- ③販売活動の強化

（3）輸出への挑戦【あきないづくり】

- ①島根海外ビジネスサポートセンターとの連携
- ②仲介業者との連携
- ③空港、港湾の活用

（4）直売所の創設・活用【あきないづくり】

- ①インターネットでの直売ツールの開設
- ②既存直売所の充実（地産地消の推進）
- ③斐川らしさのある品目（斐川ブランド）の販売
- ④観光客を意識した直売所の新設（高単価農産物、加工品）

（5）加工販売の推進【あきないづくり】

- ①カット野菜加工施設整備
- ②機能性を有した品目による新製品の開発
- ③米粉製造販売
- ④食品企業との提携、誘致